

関連科目，教科書および補助教材	
関連科目	現代社会
教科書	高等学校世界史A(第一学習社)
補助教材等	プロムナード世界史(浜島書店)
学習上の留意点	
<p>①評価の6割は講義の学習内容を定期試験で確認します。授業では教科書・副読本を使った説明をよく聞き、講義をしっかり理解し自分の言葉で内容を説明できるようになって下さい。②残りの評価のうち、2割はレポートや課題などの提出を求め評価します。必ず期限までに提出して下さい。③後の2割は授業中、教員が口頭でいろいろ関連項目を質問して口頭で回答してもらい評価します。たとえば評価を付して返却物がもどってきた後、授業で同じ内容を質問した場合に自分の言葉でどの程度回答できるかが評価の基準になります。④なお、欠席状況は各自で担当教員に尋ね確認してください。また、再試はしませんので注意してください。</p>	
担当教員からのメッセージ	
<p>①過ぎ去った過去を学ぶことにどのような意味があるのでしょうか。私たちは歴史を知らなくてもおそらく普通に生きていけます。しかし、過去の出来事を全く知らないで生きていくこと、それなりに過去の出来事を知って生きていくこととの間には大きな違いがあると私は考えています。結局、どのような人生をあなたが望むかということと関係しています。少しでも豊かな人生を求めるのであれば、出来ることなら、似たような過ちは繰り返さない方がよいでしょうし、周りの人たちがいつまでも良い関係でいた方がよいではありませんか。ここでいう過ちが人の生死にかかわることなら尚更です。そのための第一歩は周りのことや相手のことを知ることです。私たちは過去との対話を通して、相手の意見や立場を知ることが可能です。そのことを通してより良く生きていけると考えています。②ふつう歴史は暗記物といわれます。確かに試験では暗記で点を取ることが可能です。しかし、それは一つしか答えがない基礎的な問いについていえることです。一方で世の中には答えが一つではなく、簡単に答えの出せない問いがたくさんあります。2年生の世界史の授業では、基礎的事項の学習が中心となります。それは、答えが簡単に出せない問いを考えていくために必要な基礎を身につけるためのものであることをよく理解しておいてほしいと思います。</p>	

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	導入	①授業の進め方と評価方法を説明できる。②過去を振り返る前提となる現代の国家・経済・自然環境の問題を説明できる。	予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
2	東アジア世界（１）	現代の在り方と比較しながら、中国文明の特質を説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
3	東アジア世界（２）	現代の在り方と比較しながら、中国中心の東アジア世界の成立と特質を説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
4	南アジア世界（１）	現代の在り方と比較しながら、南アジア世界の成立と特質を説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
5	南アジア世界（２）	現代の在り方と比較しながら、南アジア及び東南アジア世界の成立と特質を説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
6	西アジア世界（１）	現代の在り方と比較しながら、オリエント世界の成立と特質を説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
7	西アジア世界（２）	現代の在り方と比較しながら、イスラム世界の成立と特質を説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
8	中間試験		
9	・ 答案返却 ・ ヨーロッパ世界（１）	現代の国家と比較しながら、古代ギリシアを中心に当時の国家と社会・文化を説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
10	ヨーロッパ世界（２）	現代の国家と比較しながら、古代ローマを中心に当時の国家と社会・宗教を説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
11	中世のヨーロッパとキリスト教	現代の国家と比較しながら、当時の国家と社会・宗教を説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
12	ユーラシアの交流	海と陸の交流について、具体的に説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
13	モンゴル帝国	遊牧国家の成立とモンゴル帝国による陸からのユーラシアの一体化について説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
14	15世紀の世界	大航海時代の前提となる15世紀の世界を説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
	前期末試験		
15	・ 答案返却 ・ レポートの説明	試験問題の解説を通して試験で間違った箇所について従来の理解を修正できる。夏季課題について説明できる。	予習のため次回の授業の範囲を伝達する。

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
16	大航海時代の始まりとアメリカ大陸	西欧による世界の一体化について具体的に説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
17	イスラーム世界の再編成	オスマン帝国の成立と社会・文化について説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
18	16世紀のヨーロッパ(1)	ルネサンスとルター・カルヴァンの宗教改革について説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
19	16世紀のヨーロッパ(2)	イギリスの宗教改革とカトリックの改革について説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
20	主権国家の成立(1)	スペインの絶対王政とオランダの独立について説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
21	主権国家の成立(2)	オランダ・フランス・イギリスの競合について説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
22	産業革命	イギリスで機械化と社会の大きな変化が起きた背景を生活・技術の面から説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
23	中間試験		
24	・答案返却 ・産業革命の影響	試験問題の解説を通して従来の誤った理解があれば修正できる。自然環境への影響や労働運動と社会主義思想、資本主義の成立について説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
25	アメリカの独立	イギリスの北米植民地が独立した背景を説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
26	フランス革命	フランス革命の背景と結果を説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
27	ナポレオンとラテンアメリカ	ナポレオンの政治とラテンアメリカの独立について説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
28	19世紀のアメリカ	南北戦争を中心に19世紀のアメリカについて説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
29	オスマン帝国の衰退	オスマン帝国の改革とバルカン半島の情勢	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
学年末得試験			
30	・答案返却 ・アンケート実施	試験問題の解説を通して試験で間違った箇所について従来の理解を修正できる。夏季課題について説明できる。	
総 授 業 時 間 数			60 時間